

調査費  
拓殖總道公債  
利子支出金

四四、六六〇  
五九、一八〇

一四九、一八〇

一四九、一八〇

一四九、一八〇

本誌二月號「北海道打診」一三五頁一〇行目の「日清開戦は日露開戦」の誤に付訂正す。

# 九州アルプス横断府縣道改良工事完成

永松昇

昭和十年十一月二十五日久住金山の紅葉も已に色褪せ一望千里の高原に只枯薄手招く様は今日を壽ぎ山の盛儀に参列の諸名士を迎ふるに高峰久住の景趣を一層助長せしむるの感があつた。

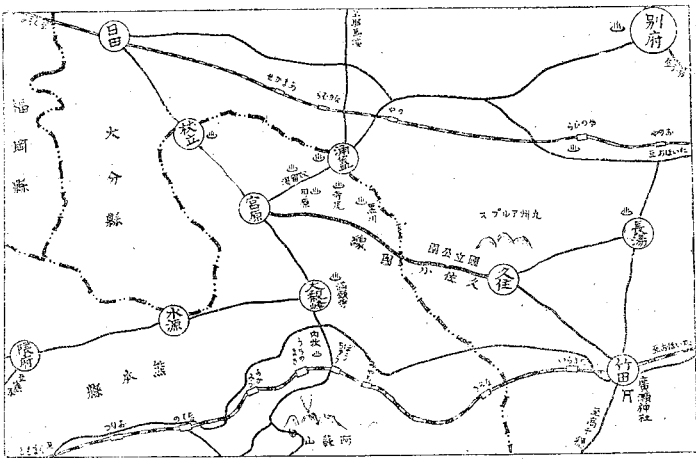
開通場所は大分縣直入郡久住町―白丹村地内及び熊本縣阿蘇郡南小國村地内で大分縣久住町赤川より熊本縣南小國村黒川間約一四軒の未改修區間は僅かに人馬の通行し得る急坂、急屈曲連續の只名のみ府縣道で明治三十四五年以來三十有餘年間該區間の改修は諸種の事情で停頓し、之れ

が成否は地方啓發上其影響甚大で、從て兩縣沿道關係者は異口同音に其の達成を痛感し、數年前より其實現に猛進して止まなかつたが、偶農村振興時局匡救事業の議起り多年の熱望遂に達せられ、大分縣は昭和七年十一月十九日縣直營を以て久住町赤川より着工し、又熊本縣は同年十二月十四日南小國村黒川より請負を以て起工爾來四ヶ年の長年月交通最も不便の山岳地帯で困苦寒暑と惡闘し、遂に昭和十年十一月二十四日延長一四軒の難工事を完成せしめた。

抑本路線は藩政時代日田往還と稱し、岡藩（豊後竹田地

方)肥後藩(熊本地方)を經て日田天領に連繫する唯一の

南九州觀光コース案内圖



久住を一括し阿蘇國立公園に指定せられ、改修路線の大

交通要路

で、文豪

頼山陽、

碩學廣瀬

淡窓兩先

生は畫聖

田能村竹

田先生と

來往し其

足跡を印

せられし

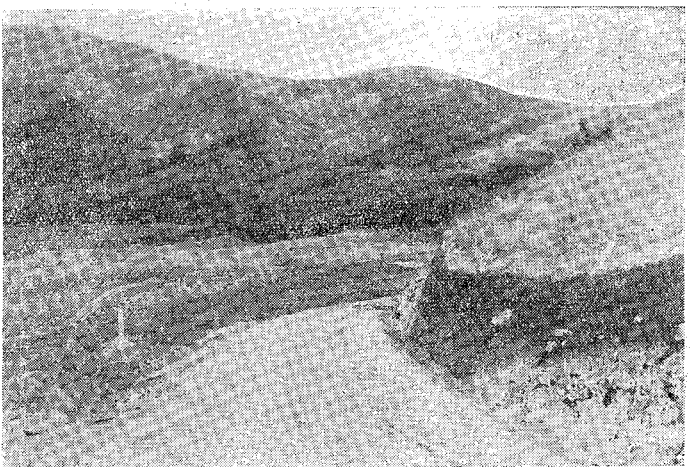
と聞く。

近くは昭

和九年十

二月阿蘇

部分は此の區域内に屬し、一望千里、起伏重疊の久住波



天に其の秀を競ひ、南に大阿蘇活火山の朦々たる黑煙天に

野の山高

原美は國

内屈指の

狩勝高原

(北海道)

に優ると

評せられ

北に九州

「アルプ

ス」の久

住(九州

最高峰)

山を始め

黑嶽大船

の連峯中

沖するの偉觀は實に世界に冠たるの誇である又大氣清朗の

て久住山で狩をしたと云ふ。又千百二十有餘年前弘仁辛卯

季は西天模糊の中に島原半島に聳立する雲仙の秀峯をも指呼の間に

に歿した伯州の佳人三郎太夫安綱の作で源頼光大江山にて酒吞童子を討

眺め得るは一幅の大「パノラマ」を

取りしと云ふ鬼截丸の名刀は田原御

展開したるが如く、車窓遙かに之を望めば氣自ら一千米の高空を

屋敷の北里家に秘藏されてゐる。又「江古尾」の「スキー」場は、

快翔する旅客機上の者たるの感がある。加之沿道各所古蹟に富み、

冬季は「スキー」に夏季は「キャンブ」に好適で、其の近くの黒川や田

史蹟鏡ヶ池は宮の原にありて人皇第六十代醍醐天皇の御代才色兼備

原には豊富な特効温泉湧出し、四時湯治客で賑つて居る。高峯の久住山

一世の佳人として麗名を謳はれた小松女院が、情人に再會の爲め所持の鏡を投じ祈願をした哀悲の傳

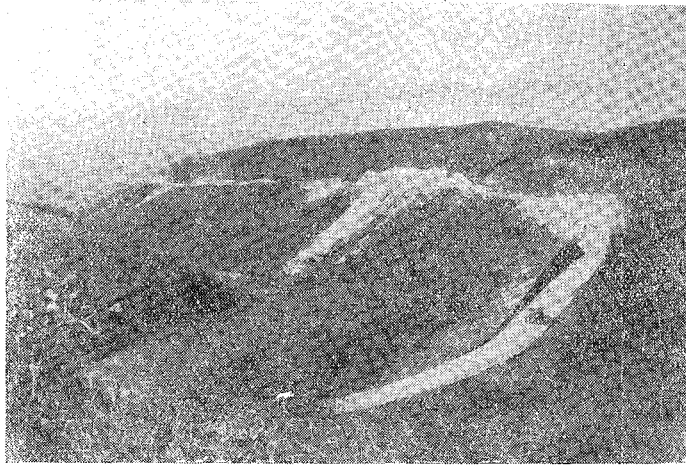
に繁植の高山植物「岩かざみ、やこけも」、岳梅、松葉蘭、等は登山者の垂涎措く能はざる所である。

説（鏡は二面或は三面となり、隠顯出沒其の數を異にするは不思議

海の玄關で東洋の「ナポリ」と呼ぶ泉都別府を「スタート」し、非常

の極で之により吉兆を占ふもの多し）や、富士の裾野で勇名を轟かした仁田四郎忠常も、會

時海軍を想起し、軍神鎮座の廣瀬神社（竹田町）に頌き、畫聖竹田翁を追想し、山の町久住よ



り左に火の山阿蘇の噴煙を望みつゝ九州「アルプス」の中腹を横斷し、九州京都の稱ある水郷日田を「ドライブ」する一日の清遊は、阿蘇國立公園地帯内觀光「コース」に、將又地方産業文化の啓發に無上の利便を與え、地方繁榮の曙光を認むるに至つたのは蓋の本道路改良の賜である。

當日の式典は大分熊本兩縣界標高一千米の芥神高地で、午前十一時三十分朝野の名士列席し、大津大分縣道路主事の開辭に始まり、廣瀬神社佐藤社司（軍神中佐の從弟）外隨員樂人に依り神事を行ひ、田口大分縣知事、關屋熊本縣知事（上田熊本縣土木課長代理）、石原經濟部長（大分）、大島土木課長（大分）、永松竹田土木出張所長、本山宮地土木管區長、工藤大分縣會議長、北里熊本縣會副議長、渡邊協贊會長來賓總代の玉串奉奠あり、續て田口大分縣知事兩縣を代表し式辭朗讀に次で大島大分縣土木課長兩縣代表として工事報告をなし、其他工藤大分縣會議長、兩縣協贊會長一般來賓祝辭、大分縣選出代議士金光庸夫氏外數氏からの祝電披露あり、引續き久住町より大分縣側直營工事關係

者永松竹田土木出張所長、濱口現場主任外數氏に記念品の贈呈を行ひ、午後一時閉式後田口大分縣知事の手に依り兩縣界夫婦岩に記念植樹し、晩秋の高原美と噴煙の大阿蘇とによる大景觀を滿喫しながら、久住、黒川兩地の女子青年團員の特別「サービス」で協贊會の祝宴が開かれ、宴酣の頃田口大分縣知事主唱の萬歳は高く山野に飜し、茲に兩縣多年の待望も完全なる堅き握手を交し、前途を祝福しながら東西に袂を分つた。

#### 府縣道久住小國線改良工事概要

起業者 大分縣知事、大分縣側 區間 自大分縣直入郡久住町至熊本縣界、延長 五、七三三米、全幅員 五・五米  
 總工費 四三、二二四圓、施工方法 縣直營、管轄竹田土木出張所、最急縱斷勾配 十五分一、最小屈曲半徑 二八米、種類 砂利道、構造物 鐵筋コンクリート丁型桁橋、長一〇米、一ヶ所、石造暗渠 七ヶ所、鐵筋コンクリート暗渠一ヶ所、工期 自昭和七年十一月十九日至同

十年十一月二十四日、使用延人員 $\parallel$ 四一、〇〇〇人 熊

本縣側起業者 $\parallel$ 熊本縣知事、區間 $\parallel$ 自熊本縣阿蘇郡南小國村至大分縣界、延長 $\parallel$ 七、六五四米全幅員五・五米、總工費 $\parallel$ 三七、六六六圓、施工方法 $\parallel$ 請負、最急縱斷勾配 $\parallel$ 十二分一、最小屈曲半徑 $\parallel$ 一七米、種類 $\parallel$ 砂利道、構造物 $\parallel$ 鐵筋コンクリート丁型桁橋、長 $\parallel$ 一二米一ヶ所、石造暗渠 $\parallel$ 三ヶ所、工期 $\parallel$ 自昭和七年十二月十四日至同十年三月三十一日、使用延人員 $\parallel$ 三〇、四三〇人

### 大分縣知事式辭

府縣道久住小國線小國久住線道路改築工事功ヲ竣ヘ茲ニ本日竣工ノ式典ヲ舉行スルニ至リタルハ洵ニ欣快ニ堪ヘサルナリ

抑本道路ハ大分縣直入郡久住町ト熊本縣阿蘇郡宮原町トヲ連繫スル産業開發上將又物資輸送上最モ重要ナル幹線道路ナリ、雖山嶽重疊ノ中ヲ走り崎嶇嶮惡ニシテ常ニ運輸ノ便ヲ缺キ交通上寔ニ遺憾トスル所ニシテ殊ニ阿蘇國立公園ノ指定アルヤ其ノ沿線風光明眉ニシテ實ニ南九州

絶好ノ觀光コースタルヲ稱セラル、ニ至リ本道ノ改築ハ兩縣當局ハ元ヨリ地元町ニ於テ一層焦慮セラレタル所ナリ偶政府ノ農村振興土木事業起ルヤ兩縣ハ國庫ノ補助ヲ受ケ工費八萬二千餘圓ヲ投シ昭和七年十一月工ヲ起シ繼續工事ヲ施行シタリ此ノ間地方各位ノ熱誠ナル援助ト本年度ニ於テ工兵隊ノ助勢トニ依リ赤川黒川間延長一萬三千餘米ヲ竣功セシムルヲ得此ニ全ク本線ノ開通ヲ見ル蓋シ交通ノ便昔日ノ比ニアラサルヘシ今ヤ新裝ナレル道路ニ依リ近ク久住大船ノ諸山ヲ眺メ遠ク阿蘇祖母ノ連峰ヲ望ミ自動車ノ疾走スルヲ思フトキ轉タ感慨ニ堪ヘサルモノアリ

冀クハ官民一致地方物産ノ増殖ヲ圖リ或ハ觀客ノ誘致ヲ策シ以テ本道路利用ノ實ヲ擧ケ永ニ福利ノ増進ニ資セラレムコトヲ一言以テ式辭トス終ニ臨ミ本工事ニ執筆セラレタル兩縣關係諸士ノ精勵ト軍隊ノ助勢ニ對シ茲ニ感謝ノ意ヲ表ス

昭和十年十一月二十五日

熊本大分兩縣知事總代

大分縣知事 田口易之

祝道路開通

都留 嶺岩

摧山穿石幾多年

直下開通大道全

朝暮往來便利境

豐肥携手古今圓

(祝は) 人皆とともには、むあかたみち

けふをはしめに通ひ始めつゝ

阿蘇久住よに名も高き山の間

ゆきゝの人も殖え榮ゆらむ

以上

松崎 正紀

# 雄 鹿 戸 隧 道

## 岩手縣土木課

### 一、位 置

平面圖に示す如く指定府縣道十六號岩泉宮古線中の下閉伊郡大川村と同郡刈屋村との村界に介在せる雄鹿戸(押角)峠に位す。

### 二、設計と工費

延長五七九・七米の南北に連なる直線隧道にして勾配は

縦斷圖の如く隧道の中央より參百分之壹の兩下り勾配とせり隧道斷面は三心圓にて路幅四・五米と側溝兩側分〇・九六米を加へ、五・四六米、胴腹(即起拱線)に於て六、一八四米、中央高五、〇六五米にして内空斷面積二七、四五二平方米、掘鑿斷面積は二枚卷(四十五纏厚)三七・二〇平方米、一枚半卷(三七・八〇纏厚)三五・六二平方米、